



渡辺信喜 《墨粟》 1994年 郷さくら美術館蔵

令和6年特別企画展
京都府立堂本印象美術館 現代作家展

渡辺信喜

四季の譜

W A T A N A S H I
N O B U Y O S H I
N o t e s B o f U F o u r S e a s o n s

2024 3.20 wed - 5.17 fri 京都府立 堂本印象美術館
KYOTO PREFECTURAL INSHO-DOMOTO MUSEUM OF FINE ARTS

開館時間 | 午前9時30分—午後5時(入館は30分前まで) 休館日 | 月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌平日休館)

入場料金 | 一般510円(400円)、高大生400円(320円)、小中生200円(160円) 〇内は20名以上の団体料金。65歳以上の方(要公的証明書)、障害者手帳をご提示の方(介護者1名を含む)は無料

主催 | 京都府、京都府立堂本印象美術館、京都新聞 助成 | 一般財団法人地域創造





4



2

渡辺信喜 四季の 譜

令和6年特別企画展
京都府立堂本印象美術館現代作家展

京都府立堂本印象美術館では、芸術の発展に貢献する場として活用してほしいという堂本印象（二八九一―一九七五）の想いを受け継ぎ、現在活躍している作家たちに発表の場を創出することを目的に、「京都府立堂本印象美術館現代作家展」を開催します。記念すべき一回目は、渡辺信喜をとりあげます。花の絵の名手として知られる日本画家の渡辺は、一九四一年に京都の仏画師の家に生まれました。京都市立美術大学（現京都市立芸術大学）卒業後、山口華楊に師事します。自然との共生を大切にす京都ならではの風土を愛するとともに、師華楊の薫陶を受け日本画材の持つ魅力を再認識し、優美な色彩に裏打ちされた独自の画境を拓きました。現在は、日展理事をつとめ、京都の日本画の重鎮として活躍しています。

This is an exhibition of Watanabe Nobuyoshi (1941–), an important figure in the Kyoto Nihonga scene. The exhibition introduces the artist known as a master of flower painting, as well as deep affection to the nature and his style with elegant colors.



1



3

- 1941年 京都市に生まれる
- 1964年 京都市立美術大学日本画科卒業
- 1966年 山口華楊に師事
- 1984年 第1回横の会（～'93年最終展）
- 2012年 京都府文化賞功労賞受賞
- 2015年 改組新第2回日展 内閣総理大臣賞受賞
- 2018年 京都市文化功労者表彰
- 現在 日展理事 京都精華大学名誉教授 京都日本画家協会理事長



- 1 渡辺信喜 《チューリップ》2018年 個人蔵
- 2 渡辺信喜 《春の小川》2018年 個人蔵
- 3 渡辺信喜 《涼夕》1994年 郷さくら美術館蔵
- 4 渡辺信喜 《冬景色》2018年 個人蔵



交通のご案内

JR 京都駅より市バス⑩、JRバス（立命館大学経由）
JR 円町駅より市バス⑮、JRバス（立命館大学経由）
阪急電車烏丸駅より市バス⑫、⑫、⑮
京阪電車三条駅より市バス⑫、⑮、⑮、⑮
市営地下鉄四条駅より市バス⑫、⑮、⑮
※いずれも「立命館大学前」下車
駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。
お車の方は近隣のコインパーキングをご利用ください。

作家（渡辺信喜）による スペシャルギャラリートーク

3月30日④、4月27日④
時間 | 午後2時～ 場所 | 2階展示室

併催 第7回野外彫刻展

2024年3月20日④⑤ー5月17日⑤
場所 | 美術館庭園【入場無料】
主催 | 京都府、京都彫刻家協会、
京都府立堂本印象美術館

次回企画展のご案内

五彩を感じて 印象の墨の世界
2024年6月5日④ー9月8日①（予定）



特別展示 堂本印象 《木華開耶媛》
1929年 京都府立 堂本印象美術館蔵